

(様式第7号)

おおさかグローバル奨学金留学報告書

2015年2月8日

学 校 名		奨 学 金 交 付 年 度	25 年度	
氏 名				
留 学 期 間	平成 26年8月11日 ~ 27年1月19日			
留 学 先	国 名	スウェーデン	学校名	Linköping University
専 攻	国際学部 国際学科 アジアコース 専攻			

留学中の生活、留学の成果、留学で得たことをどのように活かすか、これから留学する人へのアドバイス等について2000字以上で記入してください。

私は約5か月スウェーデンへ交換留学プログラムで行きました。語学留学とは異なり自分の専門分野での授業を履修しました。それに加え、私の日本の大学のゼミで研究しているテーマでのアンケートやインタビューを実施し、多くの友人関係を築くことに成功しました。現地の大学、寮を通じ、国籍が異なる数多くの人と関わり時間が非常に多く、本望に楽しく充実した生活を毎日送ることができました。もちろん楽しいだけでなく、色々なのは留学ではありません。日々の勉強、環境が異なるとしてしんどく、あきらめたくなる気持ちも何度かありました。そんな中でも私の周りの友達や本望に支えられたことにも感謝しています。優しい声をかけられたり、ご飯やイベントに招待してくれたこと、留学生活が非常に面白いものに愛まりました。そして、自分自身も大切な友人達を持つことにより、「絶対あきらめではならない!!」と言いかけ、また、何れも挑戦することが大切だと改めて実感しました。積極的に自ら動くことの大切さを改めて理解することができた留学でもあったと思います。大学のグループディスカッションやプレゼンテーションに臨む事前の準備で、自ら思った内容のテーマをディスカッションやプレゼンテーションにかけ、周りのクラスメイトと共有することに力を入れました。ちなみに、西欧の学生達はただ発表するだけでなく、周りの人と意見を共有することを大事にした上で楽しんで議論して見ると、積極性やオピニオン性を大切にすることが初めと会話する人とも上手に付き合っていくことが良くわかりました。また、寮では基本、初めは料理をしました。一つの寮の中にも多国籍の友達が住んでいたのと、時々皆一品ずつ作って共有する時間も楽しいものでした。そこで新たな会話も弾み、お互いの国々の歴史や文化を共有し合い、相互理解することが嬉しく、楽しいものでした。日本のことと聞かれた時に、いかに答えることができたのを感じることができました。

また、私はスウェーデン語の基礎勉強にも熱中しました。私はスウェーデン人、アジアの言語、文化などに興味を持った人たちの集まりサークル活動に参加しました。ここに来たスウェーデン人の9割は日本に興味を持ち、日本語を専修している学生たちでした。ここでは私たちのような留学生がスウェーデン人にアジアの言語(私の場合、日本語)を教えるか会話に入れたりし、スウェーデン人は私たちにスウェーデン語の会話、テスト勉強などの助けをししてくれました。私はスウェーデンへ留学したには、しっかり現地の母語を学べ、少しは話したいという強い気持ちがありました。積極的にサークルに参加したことにより、たくさん現地の学生との交流ができ、勉強にもなりました。生活しているだけでは難しい現地の文化などをとても丁寧に教えてもらいました。何気なく日本語で“ありがとう”スウェーデン語で“Tack så mycket”と言いかうことで大層な感謝をも仲良く親しみを持つことは本当に楽しく、日本の若者たちにもたくさんのお互い経験を海外の地で積んで欲しいと強く感じました。現在も世界中でコロナの影響が多発しているが、何も理解せずに国境を越えることは決して良くないこと、私は交流をもっと日本社会全体で増やしていくことが全世界の人々が新しく前向きに挑戦していくのではないかと感じました。人と人との新たな出会いが面白い世界に連れこくべきだと感じます。私が伝えたいのは、異文化の垣根を取り除くこと、相手を理解できることは当然であり、それに加えて、異なったスタイルの話題や難しいことでも共有できると思います。

以上のような留学生活において今後留学がオカシなアドバイスしたいと思っています。また、私がスウェーデンへ留学したように、あまり日本人が多くなり地球へ留学することでも大層な喜びだと思います。なぜなら、一人て新しい世界に入り込むことで、自立でき、誰も知らないような驚きやスタイルを毎日送ることができ、新鮮で自国日本と色々な面を比べていくことができそうです。

私は今年秋学期活動を行っていきます。その中で、今回この留学で得た経験をたくさん色々な人に伝えたいことをしていきたいです。今後の人生で一番自分が一人て学ぶことが本当にたくさんあった年でもありました。

この経験こそが私の将来働く場所を100%決めることができるときに、この交換留学をもっと一度振り返って成長しているかどうかなどを考えたと思っています。

自分の納得のいく留学で、有意義なスウェーデンライフでした。この経験を他の国へ足を運び、生体験を更に大切にしていきたいと思っています。